

# たばこ警告表示に関するアンケート 調査結果報告書

## たばこ警告表示に関する研究の概要

**研究の背景：**たばこの包装紙には喫煙の害を知らせる目的で警告表示を印刷することが義務付けられている。このたばこ警告表示は国によって異なり、写真と文章を使ったものが存在する。警告の有効性を検討した海外の研究では、写真を使った警告が効果的であることが示されている。日本の警告表示は文章のみで構成されているために、写真を使い改善すべきとの意見もあるが、日本人を対象とした警告表示の有効性を検討した調査研究はない。

**研究の目的：**日本人に最適なたばこ警告表示の特徴を明らかにする。警告表示の本来目的である喫煙者に対する効果的警告の評価のみでなく、未成年者が警告内容から喫煙を思い留まる予防教育効果の観点も加えて検討し、警告表示の改善につながる基礎資料として提供する。

**対象と方法：**10歳代を含む一般日本人を対象に、日本とEU圏のタバコ包装紙で使われている写真と文章の警告表示18種類を示して、その中から警告表示として良いものと悪いものを選ぶ無記名アンケート調査をおこなった。アンケート調査で使用した18種類の警告表示（アンケート調査別紙，A3版）は2ページと3ページ、調査用紙（A4版）は4ページに示す。講演会参加者および職場や学校への調査依頼に基づいて調査対象者が選択された。集計解析はSPSSを使い、回答項目のいづれかに欠損がある場合でも、解析の対象項目で正しく回答していた場合は有効回答として集計解析をおこなった。

**調査地域：**北海道、秋田、岩手、栃木、東京、京都、高知、熊本、沖縄

**調査期間：**2010年4月－2011年10月

### 研究組織・研究者リスト

- |        |               |        |                 |
|--------|---------------|--------|-----------------|
| ・斎藤重幸  | 札幌医大          | ・小野田敏行 | 岩手医大            |
| ・鈴木一夫  | 秋田脳研（データセンター） | ・泉学    | 自治医大            |
| ・吉村公雄  | 慶應大学          | ・望月友美子 | 国立がんセンター        |
| ・前田稔   | 東京学芸大学        | ・平賀典子  | 日本禁煙学会          |
| ・繁田正子  | 京都府立医大        | ・田上豊資  | 高知県中央東保健所       |
| ・橋本洋一郎 | 熊本市市民病院       | ・高野義久  | 八代市、たかの呼吸器クリニック |
| ・島袋弘子  | 那覇看護専門学校      |        |                 |

## ヨーロッパ連合 (EU) の警告表示 1 ~10

写真部分の文は、下に日本語訳をつけました。



喫煙者は早死にする。



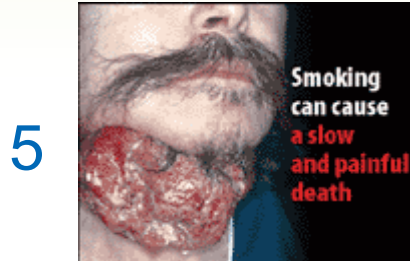
喫煙は動脈を詰まらせ、心臓発作や脳卒中の原因になる。



喫煙は肺ガンによる死亡の原因になる。



喫煙は依存性が強い。始めないに限る。



喫煙は長い苦痛を伴う死の原因になりやすい。



喫煙は肌の老化の原因になる。



喫煙は血流を減らし、インポテンツの原因になることもある。



喫煙は精子にダメージをあたえ妊娠を難しくする。



妊娠中の喫煙はあなたの赤ちゃんに危害を与える。



子どもを守りなさい。あなたのタバコの煙を吸わせてはいけません。

たばこパッケージの裏表の半分、最低でも30%は、たばこの警告表示に使わなくてはなりません。



# 1～18) の中から良いものと悪いものを選んでください

## 日本(JP)のたばこの警告表示 11～18

11

喫煙は、あなたにとって肺がんの原因の一つとなります。疫学的な推計によると、喫煙者は肺がんにより死亡する危険性が非喫煙者に比べて約2倍から4倍高くなります。

(詳細については、厚生労働省のホームページ [www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html](http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html)をご参照ください。)

12

喫煙は、あなたにとって心筋梗塞の危険性を高めます。疫学的な推計によると、喫煙者は心筋梗塞により死亡する危険性が非喫煙者に比べて約1.7倍高くなります。

(詳細については、厚生労働省のホームページ [www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html](http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html)をご参照ください。)

13

喫煙は、あなたにとって脳卒中の危険性を高めます。疫学的な推計によると、喫煙者は脳卒中により死亡する危険性が非喫煙者に比べて約1.7倍高くなります。

(詳細については、厚生労働省のホームページ [www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html](http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html)をご参照ください。)

14

喫煙は、あなたにとって肺気腫を悪化させる危険性を高めます。

(詳細については、厚生労働省のホームページ [www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html](http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html)をご参照ください。)

15

妊娠中の喫煙は、胎児の発育障害や早産の原因の一つとなります。疫学的な推計によると、たばこを吸う妊婦は、吸わない妊婦に比べ、低出生体重の危険性が約2倍、早産の危険性が約3倍高くなります。

(詳細については、厚生労働省のホームページ [www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html](http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html)をご参照ください。)

16

たばこの煙は、あなたの周りの人、特に乳幼児、子供、お年寄りなどの健康に悪影響を及ぼします。喫煙の際には、周りの人の迷惑にならないように注意しましょう。

17

人により程度は異なりますが、ニコチンにより喫煙への依存が生じます。

18

未成年者の喫煙は、健康に対する悪影響やたばこへの依存をより強めます。周りの人から勧められても決して吸ってはいけません。

喫煙は、あなたにとって心筋梗塞の危険性を高めます。

疫学的な推計によると、喫煙者は心筋梗塞により死亡する危険性が非喫煙者に比べて約1.7倍高くなります。

(詳細については、厚生労働省のホームページ [www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html](http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html)を参照ください。)



日本のたばこパッケージ警告表示の原寸大(3cm×5.5cm)での表示例です。

この用紙は、お持ち帰り下さい

## 調査用紙

### たばこ警告表示に関するアンケート調査

この調査は、一般の人がたばこパッケージに使われる警告表示はどの形が望ましいと考えるかを探る目的で、秋田県立脳血管研究センター疫学研究部が行なっています。現在、たばこパッケージには、喫煙で生じる健康に有害な影響を記述する警告（警告表示）をつけることが国際条約で義務付けられています。国別に警告表示の文面や図柄は異なりますが、ここでは別紙でヨーロッパ連合（EU）1-10と日本（JP）11-18の警告表示を示しました。調査では、この警告表示についてご意見をうかがいます。

別紙の番号1から18の警告表示を確認していただき、以下の質問にご回答下さい。

1) 海外では、写真によるたばこの警告表示があるのをご存知でしたか？

1. はい      2. いいえ

2) 現在の日本の警告表示（JP）にEUのように写真も使うべきとの意見があります。

これについて、あなたはどのように思われますか？

1. 賛成      2. 反対

(理由 \_\_\_\_\_ )

3) たばこの警告表示として最も良い（たばこの害を知り、禁煙や喫煙防止に役立つ）と思うものを別紙1～18の中から1つ選んで、その番号をお書き下さい。

番号 \_\_\_\_\_

次に良いと思うものを2つ選んで、その番号をお書き下さい。

番号 \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_

4) たばこの警告表示として最も悪いと思うものを別紙1～18の中から1つ選んで、その番号をお書き下さい。

番号 \_\_\_\_\_

悪いと思われた理由に当てはまる番号を1つ選び○で囲んで下さい。

1. 過度の不快感、恐怖感をあたえる      2. わかりにくい      3. 情報が不正確  
4. 文字が多くて読みにくい  
5. その他 ( \_\_\_\_\_ )

次に悪いと思うものを2つ選んで、その番号をお書き下さい。

番号 \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_

5) 差し支えなければ、回答された方の3つの情報をお知らせ下さい。

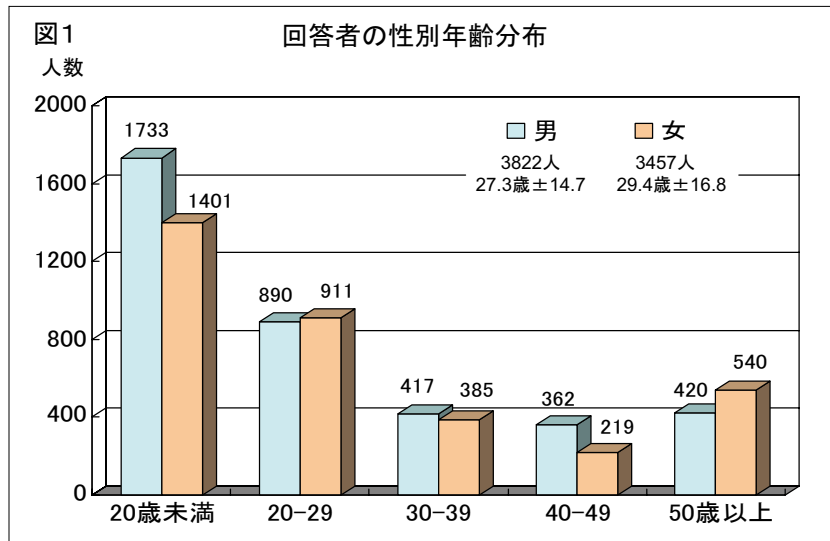
- ① 年齢： \_\_\_\_\_ 歳  
② 性別： 1. 男      2. 女  
③ 喫煙： 1. 現在吸っている      2. 過去に吸っていた      3. 吸ったことがない

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

# 結 果

## 1) 回答者の性と年齢分布を示す (図1)。

回答者7279人中、20歳未満の若年者が43%、男が全体の53%を占める。



## 2) 問1と問2の結果

海外ではたばこパッケージに写真の警告表示が使われていることを知っていたのは3478人(47%)であった。日本でも写真の警告表示を使うべきと考える人は85%であった。写真警告表示が海外で使われている知識と日本での使用の賛意との間で差はなかった。

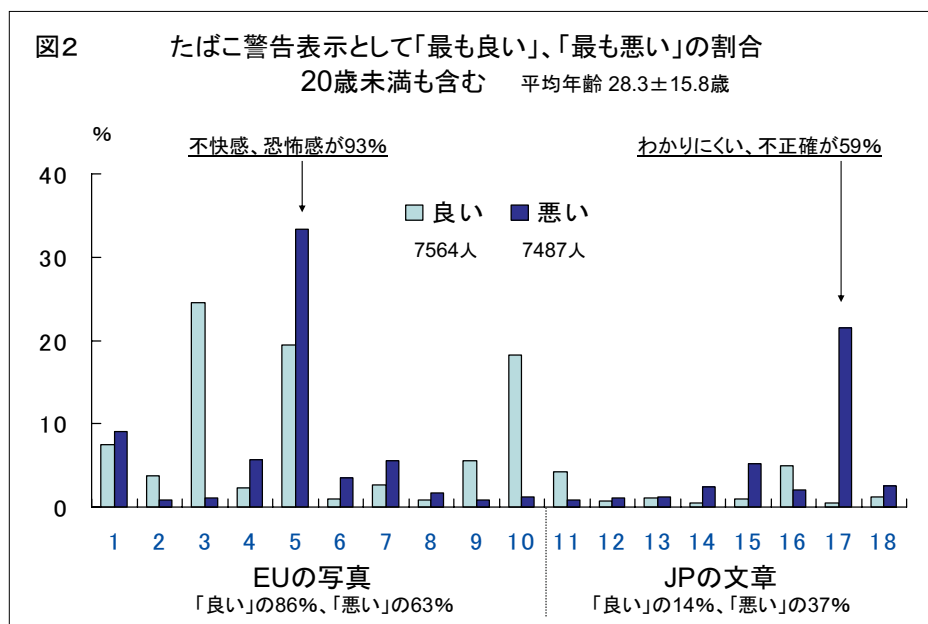
## 3) 問3と問4の結果 (警告表示として良いものと悪いもの)

① 回答者全体の集計を示す (図2)。横軸の番号は2ページのアンケート調査別紙の番号に対応している。

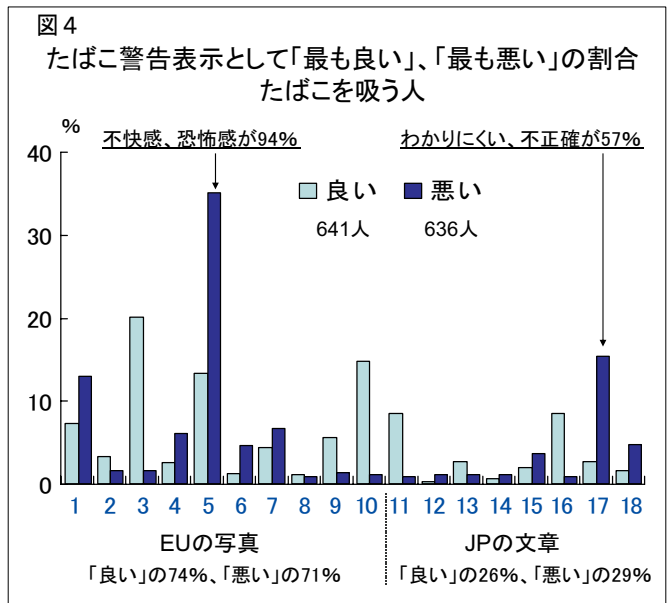
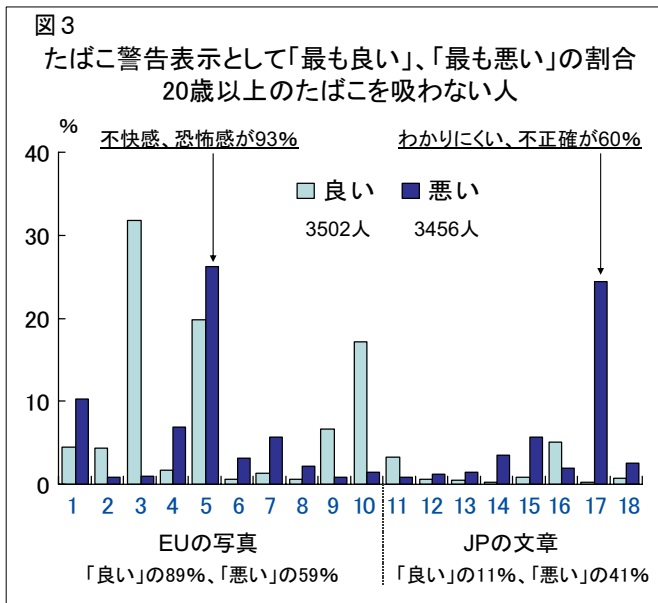
写真を使う警告表示が良いとする者は、86%をしめ、悪いとする者も63%であり、良し悪しは別にして、警告に写真を用いるほうが文字のみの警告より注目度が高く優れていると考えられる。

警告表示の好みは特定の情報に偏る傾向がある。すなわち、良いものでは3、5、10の3つであり、悪いものでは5と17の2つに集中した。

警告表示として悪いとしたものの理由は異なり、5では「不快感、恐怖感を感じる」が93%を占め、17では「わかりにくい、不正確」が59%を占めた。



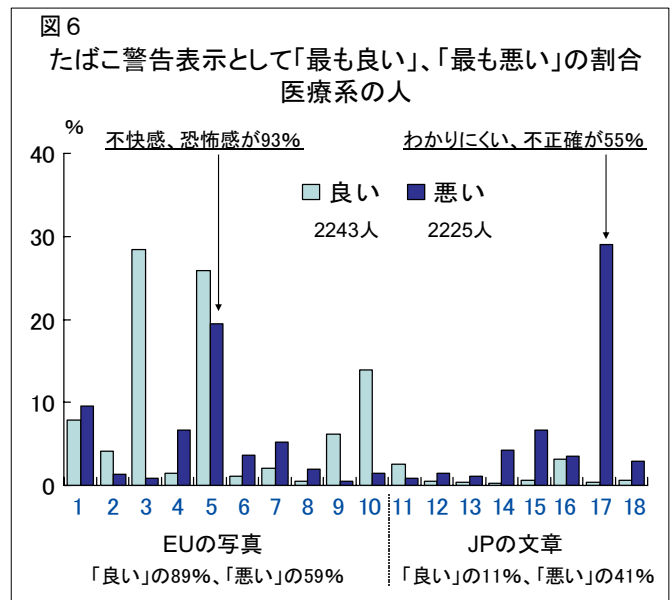
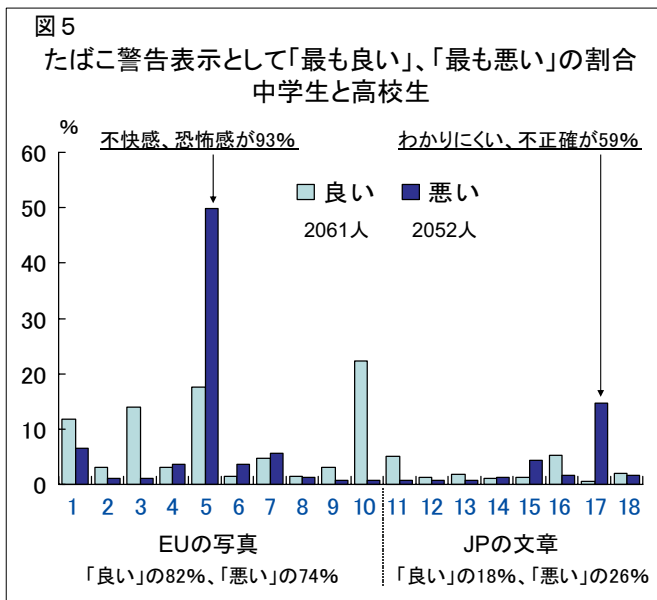
② 年齢別の回答者数が大きく異なり、全体の結果は若い年齢の意見が強く出ることが予測されるなど、意見の異なる集団別に警告表示に対する良し悪しの評価をおこないその特徴を明らかにする必要がある。ここでは、以下の4群で比較をおこなった（図3－図6）。



現在喫煙群に比して喫煙習慣のない20歳以上の群では3を良いとする率が高く、ついで5、10であった（図3）。喫煙者では3を良いとするものの割合が10%低く、ついで10、5の順であった（図4）。両群の間立った違いは5を悪い表示とする割合が喫煙者で極めて高いことであった。

写真5を悪い表示とする喫煙者の特徴は、中学高校生の群でも典型的に認められた（図5）。

一方、医療関係者では、警告表示として悪いと考えるものは17が最も高く、5に対する嫌悪感をもつ人は他の群に比して少ないと思われる（図6）。



#### 4) 警告表示の良し悪しで多数に選ばれた代表的写真と文章の多変量解析

4群間で警告表示に対する印象が大きく異なることがわかり、対象集団に対する警告表示の良し悪しには性、年齢、専門的知識など集団の特徴が相互に影響して、効果的警告表示が決定すると思われた。

警告表示で良いとされた3、5、10をそれぞれ従属変数として、アンケート調査で得た回答者の年齢、性、喫煙習慣、写真警告の知識の有無、写真表示の賛意を説明変数として、多変量ロジスティック解析をおこなった（図8－図10）。

図7

タバコ警告3,5,10を最も良いとした人の年齢的特徴  
30歳代を基準にして、性、喫煙、医療系教育の有無を調整  
6991人

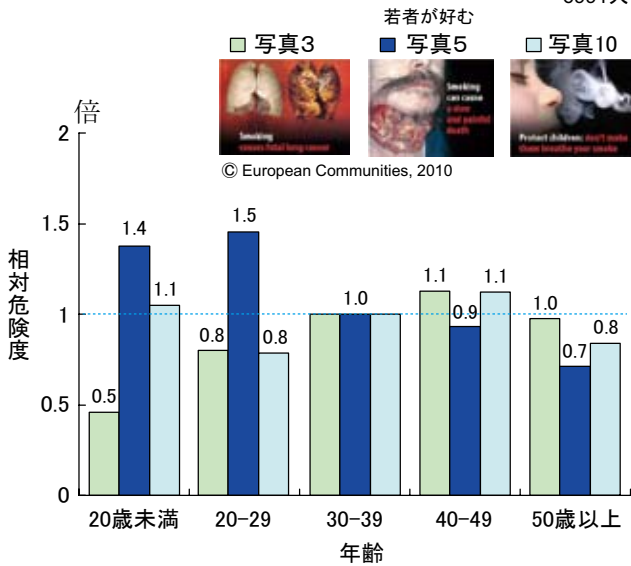


図8

男性、非喫煙、写真警告、写真表示、非医療系教育を基準にした  
タバコ警告表示として3、5、10を最も良いとした人の傾向

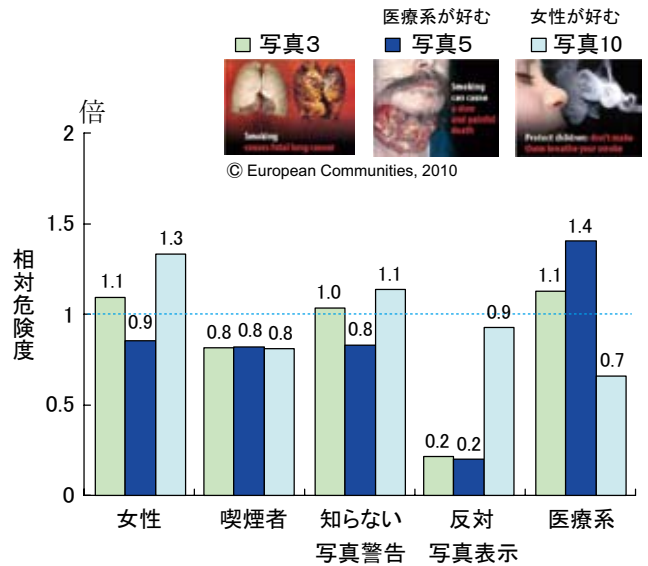


図9

タバコ警告5、17を最も悪いとした人の年齢的特長  
30歳を基準にして、性、喫煙、医療系教育の有無を調整  
6991人

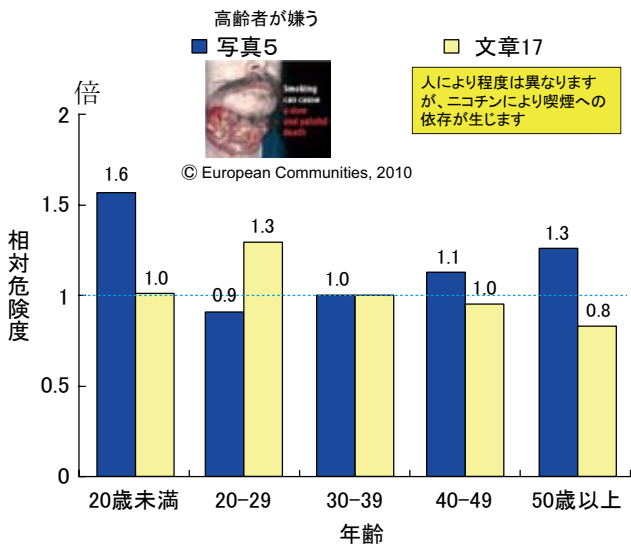
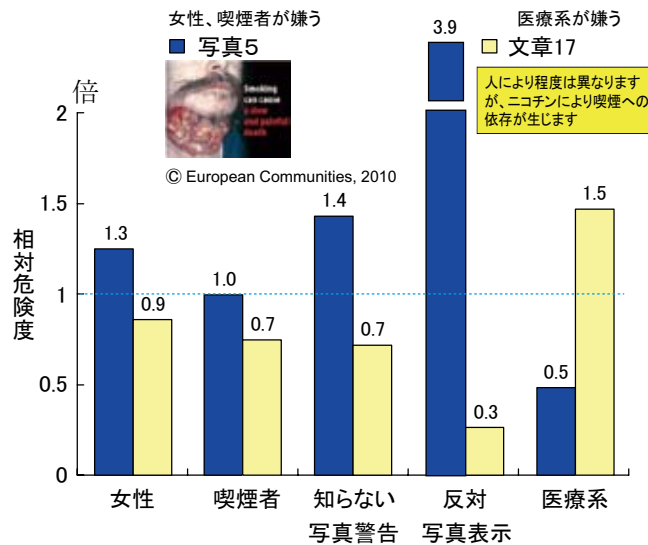


図10

男性、非喫煙、写真警告、写真表示、非医療系教育を基準にした  
タバコ警告表示5、17を最も悪いとした人の傾向



30歳代を標準に良いとする判断の年齢での傾向は、5の写真は若者に支持されるのに対し、3は若者では支持されず30歳以上の人たちに好まれ、10の写真は年齢での特徴に乏しかった(図7)。女性は、5を嫌い10を好む。喫煙者は写真のすべてにやや否定的であった(図8)。最も顕著な傾向は、写真表示に反対の人では3と5の写真では極めて否定的な反応を示すが、それに比して10に対しては容認のほうに傾く。医療系の人たちは5に対する評価が高く10は低い。

警告表示として悪いとした5では、若者でその傾向が強いが、文章の17では年齢的な特徴は認められない(図9)。写真表示に反対の人は、5の写真に極めて強い拒絶的反応を示した(図10)。文章17は医療系の教育を受けている人がその他に比して強く悪いと考えている。

## 結果のまとめ

- 1) 日本では文章のみの警告であるが、対象者の47%は、写真を使うタバコ警告表示の存在を知っていた。
- 2) タバコ警告表示に写真を使うことに回答者の85%が賛成していた。
- 3) 警告表示として最もふさわしいと考える表示の86%は写真から選ばれた。
- 4) 最も悪い表示と考える63%も写真の中から選ばれた。
- 5) 文章の警告は、警告としてのインパクトに乏しく、無視される傾向がある。
- 6) 喫煙者においても、写真を使う警告表示を最も良いとするものが74%に及んだ。
- 7) 警告表示として最もインパクトの高い写真5は、若者に支持される傾向にある。
- 8) 喫煙者と高校生の写真5に対する過度の恐怖、不快感は強く似通って、悪い表示として高い割合を示した。
- 9) 医療系の教育を受けた人では、写真5を良い表示と考える傾向が強い。このことは5の写真から受ける過度の不快感と恐怖感は、慣れることによって、良い評価に変わる事を示唆する。
- 10) 警告表示5が悪いと思う人は20歳未満の若年者と50歳以上高齢者に多いU字形をしめす。5が悪いと思う人は、写真を使うタバコ警告表示に反対する人に顕著であり、この群では、あまりにも直接的な健康被害を見たくないことが写真表示の反対理由と推測される。
- 11) 警告表示17が悪いと思う人は、医療系に多く、写真表示に反対する人で極めて少ない。

## 結 論

タバコ警告表示に写真を使うことは、日本人においても、多くの人に支持され、強い印象を与え、喫煙を抑制する効果は文章での警告よりも優れている。写真の中でも、警告表示として良い写真には偏りが認められ、喫煙被害が老化、性機能低下、依存性を示す写真より、死や病気を直接示す刺激の強い写真が警告表示として効果的である。

アンケート調査に参加され、この研究に協力していただいた全ての人に感謝申し上げます。

### この報告書についてのお問い合わせは

〒 010-0874 秋田市千秋久保田町 6 - 10  
秋田県立脳血管研究センター 疫学研究部 鈴木一夫  
TEL&FAX : 018-836-0635  
e-mail:ksuzuki@akita-noken.jp